

シリーズ
「私たちの思い」

福島第一原子力発電所で原子炉メンテナンスを行う部署にいた平成23年、東北で大きな地震が起きたことを出張先の広島で知りました。部下から「原子炉を安全に停止できた」と一報を受けホッとしたのも束の間、通信回線がパンクし現場の情報が取れなくなりました。翌日、何とか東京の本社にたどり着き、燃料が冷やせなくなっていることを知ったとき、福島第一はどうなるのか、地域の皆さまや現場の仲間たちは大丈夫かと、不安がこみ上げてきました。それから数年間、調査や復旧、廃炉計画の

策定と、廃炉に関わる業務に携わるなかで、なぜ事故を食い止めることができなかったのかと何度も考えました。

私は平成28年夏から、柏崎刈羽原子力発電所で安全対策工事の全体を管理する業務に携わっており、福島第一の事故の反省を踏まえ「もう誰にもあのような思いはさせたくない」という気持ちで業務に取り組んできました。しかしながら、当社は発電所の免震重要棟の耐震性に関して、新潟県の皆さまに迅速・丁寧なご説明ができず、大変なご心配とご不安をおかけしてしまいました。発電所の取り組みについて、技術的な視点だけではなく、皆さまの立場に立った考えを持ち、行動できていなかったことは大きな反省です。発電所の抱える課題や問題に対して、皆さまの安全、安心という視点で部門の垣根を越えて改善策を考えていくことが大切だと改めて強く感じました。

工事をしっかり進めるには、安全な作業現場であること、そして経験豊富な人たちの知恵や知識を次世代に引き継いでいくことが大切だと思います。私は毎週、若手と一緒に現場を巡回する時間をつくっていて、この機器はなぜこのような形状になっているのか、この工事の目的は何か、など多くの質問を投げかけます。彼らには、あらゆる業務について常に疑問を持ち、わからないことは先輩社員や協力企業の方からも学んで知識を深めて欲しいと考えています。発電所の仲間たちと安全への思いを共有しながら対策を進めていくためにも、自らが率先して行動していきます。

山下 理道 (やましたのりみち)

柏崎刈羽原子力発電所
第二保全部長
平成5年入社

安全への思いを 次世代に繋げていく



平成29年6月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、WEBでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepco.co.jp/niiigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社
025-283-7461
9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

